

排気ダクト等の附属設備に係る点検表

点検部		点検方法	点検の要点	確認欄
天蓋		目視により確認する。	ア 内面にワックス状の油塵（油のまじったほこり）等の付着がないか イ 変形、損傷、腐食等がないか ウ 樋に油脂分等の溜りがないか エ オイル抜きプラグからの油漏れがないか	
グリス除去装置	フィルター部分	フィルター部分を取り外し、目視により確認する。	ア 油塵の付着により目詰まりしていないか イ 変形、損傷、腐食等がないか 上記確認後、正しい位置に取り付けられていることを確認する	
	フィルターケース（Vバンク）部分	フィルター部分及びグリス回収容器を取り外し、目視により確認する。	ア 内外面にワックス状の油塵等の付着がないか イ グリス回収容器の油量に余裕があり、油漏れがないか ウ 油送パイプに詰まりがないか エ 変形、損傷、腐食等がないか	
防火ダンパー（火炎伝送防止装置）		グリス除去のフィルター部分を取り外し、又は点検口から目視による確認後、温度ヒューズ部を取り外し、作動状況を確認する。	ア 羽根、バネ、温度ヒューズ部に油塵、錆び、ほこり等の付着がないか イ 変形、損傷、腐食等がないか ウ 油塵等の固着がなく、円滑に作動するか エ 温度ヒューズ部の劣化がないか	
排気ダクト（天蓋部分から目視できる範囲）		グリス除去装置のフィルター部分を取り外し、目視により確認する。	ア 内面に油塵等の付着がないか イ 変形、損傷、腐食等がないか	
排気ファン・たわみ継手		点検口から、目視による確認後、排気ファンを作動させ運転状況を確認する。	ア 羽根車、ケーシングに油塵等の付着がないか イ 変形、損傷、腐食等がないか ウ Vベルトの摩耗、亀裂、緩みがないか エ プーリーの摩耗、損傷がないか オ 運転音に異常がないか カ 異常振動がないか	
自動消火装置		甲種若しくは乙種の第3類消防設備士又は第1種点検資格者による点検と併せて、目視による確認を実施する。	ア 消火薬剤放出口はキャップ等の覆いが確実に設けられており、油塵等の付着、目詰まりがないか イ 感知部に油塵等の付着がないか ウ 変形、損傷、腐食等がないか	

※外観から確認できる部分は日常的に、排気ダクト内部など外観から確認が難しい部分はおおむね1年ごとに点検しましょう。（点検頻度はあくまで目安ですので、使用頻度や店舗の規模に応じて点検して下さい。）

ご自身で確認することが困難な場合は、点検業者等に依頼しましょう。